



市議会議員
上田由美子
☎ 68-2106
Fax 68-2146



参議院議員
井上さとし



前衆院議員
藤野保史

8月臨時会

豪雨災害対策に

8億8,550万円

7月12日、13日の豪雨により、小矢部市では農地や農業用施設、林道施設、市道や河川など公共土木施設が多数被害を受け、その応急復旧分や、その後の復旧工事の測量設計・工事施工分など合計8億8550万円の補正予算が8月22日の小矢部市議会臨時会で可決されました。

農地の応急対応は、用排水路や農道の排土処理143箇所についてです。農業用施設のうち、農業用揚水ポンプの更新や電気設備の更新は18箇所、水路崩土除去は8箇所です。農地農業用施設の災害復旧費は、約5億円計上されています。

「40万円未満の被害は市が負担」

桜井市長

国庫補助を受けることができるのは、復旧事業費が40万円以上の農業被害です。桜井市長は8月28日の定例記者会見で「7月の豪雨が激甚災害の指定を受けた。国の災害復旧事業の対象とならない40万円未満の被害は市が負担し、農業者に地元負担を求めない」と発表しました。高齢化が進むもとで離農を防ぎたいとしています。

8月25日に政府は閣議決定で7月の豪雨などについて激甚災害指定を決定しました。（対象は5月28日から7月20日までの被害で、自治体は限定しない。）

被害の調査は進んでいますが、まだ把握されていない被害箇所がある可能性があります。市への情報提供が必要です。

公共施設利用料金値上げ

来年4月から

来年2024年4月1日より公共施設利用料金を値上げする条例が6月議会に提案されました。その一例を左の表で紹介いたします。上田由美子市議は次の反対討論をしました。

表 利用料金値上げの一例 単位 円

施設名 利用区分	現行	来年4月
サイクリングターミナル 一般・洋室	3,630	4,400
道の駅 フリースペース(全日)	730	1,080
高齢者健康交流センター 個人	310	470
石動中学・夜間照明 4基点灯	550	830
小矢部ホッケー場 練習・1時間、1/4面 一般	350	470
屋内スポーツセンター アマ・練習・全面 1時間	440	660
武道館 柔道・剣道 アマ・練習・全面 1時間	550	810
クロスランドおやべ セーナホール・平日夜間	19,220	23,640
小矢部野球場 アマ・試合・無料の場合	27,010/day	5,070/h
文化スポーツセンター 軽スポーツ室・個人・一般	100/h	110/h
アートハウスおやべ 展示室 1日	1,100	1,650

市民から寄せられた被災情報



ある市民から次の訴えがありました。
「7月の豪雨で、田んぼに面する市道ののり面が崩れてきており、稲刈りの時、軽四トラックでモミ運びするのに、危険であり、建設課に、修繕依頼をしました。上田議員のフォローを、お願いする次第です。」

「この市道の修繕をするとの連絡が建設課からありました。ありがとうございます。」

石坂地内での農地災害



立木が水田に押し流されている=8月6日



水田の畦が崩れている=8月6日

上田由美子市議が反対討論

物価高騰、生活苦で

利用を控える市民も

物価高騰の中で賃金が上がらず、生活が苦しい市民が使用を控えざるをえなくなります。

地方自治法244条は、「公の施設」は住民が誰でも差別なく利用できるものであるとしています。値上げにより、スポーツや文化活動、交流の機会を減らざるを得なくなれば、「誰でも差別なく利用できる」ことにはなりません。市民の体や心の健康にも大きな影響があり、引きこもりや認知症の人が増えるおそれがあります。市民の交流を行う団体の財政に負担をかけ、団体の事業縮小につながります。そのため、利用料金を値上げすることに賛成できません。